

第3期
諫早市
まち・ひと・しごと創生
総合戦略
(素案)

令和8年3月
諫早市

目 次

1 基本的な考え方	2
2 施策体系	4
3 具体的な施策	6

基本目標1 チャレンジできるまち

(1) 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援	6
(2) 多様な交流と連携によるまちづくり	14
(3) 新たな活力の創出と人材育成	16
(4) 市民協働の諫早プロモーション	20
(5) 多様な地域づくりの推進	22
(6) 魅力的な都市（まち）づくりの推進	24

基本目標2 産業が活力を生み出すまち

(1) 特色ある農業の振興	28
(2) 3つの海が育てる水産業の振興	30
(3) 個性と魅力あふれる商工業の活性化	30
(4) 安定した雇用の創出	32
(5) 新たな活力の創出と人材育成（再掲）	

基本目標3 人を育む学びのまち

(1) 学びと夢を育てる学校教育の充実	34
(2) 地域で支える青少年の健全育成	36
(3) 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進	36
(4) 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進	38

基本目標4 誇りと賑わいのあるまち

(1) 歴史と文化が息づくまちづくり	40
(2) スポーツ・レクリエーションの振興	40
(3) おもてなしの心による観光振興	42
(4) ふるさとの物産づくり	46
(5) 未来につながる環境の保全	48
(6) 市民協働の諫早プロモーション（再掲）	

基本目標5 持続可能なまち

(1) 明るく活力ある長寿社会の実現	50
(2) 総合的な防災体制の強化	52
(3) 交通安全・防犯意識の推進	54
(4) 安全・安心な暮らしを支える基盤づくり	56
(5) 暮らしと経済を支える交通基盤の整備	58

まちづくり計画の推進方策

健全で効率的な行財政運営の推進	60
-----------------	----

1 基本的な考え方

(1) 現状認識

平成26年11月、「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、国においては、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、日本が直面する人口減少・少子高齢化という構造的な課題に対し、政府一体となった取組を進めてきた。

しかしながら、日本の人口は平成20年の1億2,808万人を概ねピークとして減少が始まり、同法が制定された平成26年の人口推計(約1億2,700万人)から10年間で約340万人減少している。

総人口が減少を続ける一方で、地方から都市圏、特に東京圏への転入超過が続いており、平成26年に10万9,408人であった東京圏への転入超過は10年で11万9,337人(令和6年)まで拡大しており、東京圏への一極集中の是正は喫緊の課題となっている。

※東京圏:埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 の4都県。

長崎県においては、「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025」や「第2期長崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」等に基づき、様々な施策に取り組んできた結果、企業誘致や地場産業への支援による新規雇用創出、移住者の増加、高校生の県内就職率の改善など幅広い分野において一定の成果を上げてきた。一方で、人口減少や少子高齢化に歯止めがかからず、厳しい状況が続いている。

諫早市としても、平成28年3月に、5か年の目標や具体的な施策をまとめた「諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し取組を進めてきた。

現行の「第2期諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)」においては、企業の雇用創出数の確保や転入が転出を上回る社会増が令和3年以降続く等順調に成果を上げているものの、人口は平成27年の約13万8千人から令和6年は約13万1千人に減少している。これは、未婚化や晩婚化、晩産化により出生数が減少するとともに、高齢化の進行により高齢者が増えることに伴って死亡数が増加することで、社会増を上回る自然減となっているためである。

(2)第3期総合戦略に向けての基本的な考え方

国は、地方創生2.0において、当面は人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じていくこととしており、高付加価値型の経済への移行や地域にとって本当に必要なサービスを、過不足なく、かつ持続可能な形で提供し続ける体制や制度を構築することが必要としている。また、地方創生1.0では、若者や女性の地域からの流出が継続したことから、若者や女性にも選ばれる地域づくりを、地域に関わる政策の基本的な姿勢・視点として重視することとし、これらの観点を踏まえ、総合戦略を策定し、地方創生2.0を力強く展開していくこととしている。

県は、次期総合計画において、総合戦略としての位置付けも行い一体的に取り組むこととしている。また、国の地方創生2.0の基本姿勢を踏まえ、都市と地方や地方同士の人材交流・人材循環を促進し、人口減少社会の中にあっても経済成長を実現し、力強い地域社会の構築に取り組んでいくこととしている。

本市も、少子高齢化・人口減少に歯止めがかかっていない状況ではあるが、好調な企業誘致や大型商業施設の進出、土地利用政策の見直しなどを背景とし、2035年の目標人口約13万人を目指すため、引き続き市民や産業界、大学、金融機関、関係団体等と市が共通認識を持って力を合わせるとともに、国・県・関係市町と連携しながら総合戦略に取り組んでいくことが必要である。

(3)効果検証の実施と総合戦略の改訂

本市総合戦略の推進にあたっては、重要業績評価指標(KPI)※による効果検証を行い、計画内容や実施方法等に関する改善を図っていく。

効果検証については、「諫早市まちづくり総合戦略推進会議」の審議を経るものとし、必要に応じて本市総合戦略の改訂を行うものとする。

※重要業績評価指標(KPI:Key Performance Indicator)

(4)対象期間

本市総合戦略の対象期間は、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間を勘案し、令和8年度から令和12年度(2026年度から2030年度)までの5年間とする。

2 施策体系

第3期諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第3次諫早市総合計画の体系に合わせることで、取組の方向性を同じくし、より強力に取組を進めていくこととする。

具体的には、総合計画と「将来都市像・基本目標・施策体系」を共通とし、同計画の「施策」の下位に同戦略の各取組を位置付けることとする。

将来都市像

輝く諫早 夢叶うまち

来てよし、住んでよし、育ててよし！

基本目標 1

チャレンジできるまち

若者や女性をはじめ全世代が住み続けたい、今後住んでみたいと思える魅力的で活気のあるまちを創る。

基本目標 2

産業が活力を生み出すまち

企業誘致と地場産業の振興を両輪で進め、仕事に生きがいを感じることができる雇用を創出する。

基本目標 3

人を育む学びのまち

市民誰もが目標に向かって学び続けられる、多様な学びの場と機会に恵まれたまちを創る。

基本目標 4

誇りと賑わいのあるまち

諫早の魅力をみんなで磨き、発信することで、市民は誇りを持ち、活気のあるまちを創る。

基本目標 5

持続可能なまち

誰もが安心して便利に暮らせる機能的なネットワーク型のまちの基盤を創る。

まちづくり計画の推進方策

総合戦略の各取り組み

重点業績評価指標
(KPI)

具体的な事業

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

幼児期の教育・保育の量的拡充と質の改善
及び地域における多様な子ども・子育て支援

ア:幼児期の学校教育や保育の充実

- 幼児期の学校教育や保育について、地域の需要に応じた定員確保を行い、多様化する教育・保育ニーズに対応する様々なサービスを実施し、子どもを安心して育てることができる環境の整備を図る。
- また、教育・保育の質の向上、保育人材の確保を図り、次代の社会を担う児童の健やかな成長に寄与するとともに、子どもを持つ親の働きやすい環境を整える。

イ:すくすく広場等による支援

- すくすく広場において、妊娠期から子育て期にわたる母子保健や育児に関する様々な悩み等に対応するため、子育て世代包括支援事業、産後ケア事業、出産・子育て応援事業、母子保健事業、ファミリー・サポート・センター事業や子育て支援センター事業など様々な事業を組み合わせながら包括的な子育て支援を実施する。
- 母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」としての役割も担いつつ、子育て世代の全ての家庭に対するきめ細やかな支援を行っていく。

ウ:子育て家庭への多様な支援

- 子育て家庭に対し、本市の特色ある支援策や必要な手続きなどに関して分かりやすい情報発信を行うため、パソコンだけでなくスマートフォン等のモバイル端末でも利用できる子育て支援ウェブサイト「いさはや子育てネット」による情報発信とともに、市公式LINEや窓口・母子手帳交付時における案内など、他課と連携し周知を図る。
- 子育て支援センターにおいては、保育所や幼稚園入所前の児童及び保護者を対象として、子育てに関する育児相談を実施するほか、親子のふれあいや保護者同士の交流の場を提供する。今後さらに、市民ニーズに応じた子育て支援機能の充実を図っていく。

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

基本
目標
1
チャレンジできるまち

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
子ども・子育て支援事業計画における教育・保育施設の「確保の方策」(2・3号)	4,432人 (R11年度)	4,230人
病児保育	4か所 (R11年度)	2か所

※各KPIは、「第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画」において、令和11年度までの目標値であるため、令和12年度の目標値については、次期同計画に依拠する。

<具体的な事業>

- ・施設型給付事業
- ・保育士わくわくサポート事業
- ・病児保育事業

基本
目標
2
産業が活力を生み出すまち

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
「すくすく広場」の来館者数	22,500人	16,709人
「すくすく広場」での指導・相談件数	2,000人	1,922人

<具体的な事業>

- ・子育て世代包括支援事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・産後ケア事業
- ・地域子育て支援センター運営事業
- ・母子保健事業(幼児健診、両親学級等)
- ・出産・子育て応援事業

基本
目標
3
人を育む学びのまち

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
子育て支援ウェブサイトアクセス数	150,000件	136,284件 (直近5年間最高値)
子育て支援センター利用人数	31,000人	26,226人

<具体的な事業>

- ・子育て情報発信事業
- ・地域子育て支援センター運営事業

基本
目標
4
誇りと賑わいのあるまち

基本
目標
5
持続可能なまち

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8暮らしと経済を支える交通基盤の整備

子どもの成長に合わせた子育て支援

ア:小児医療等の充実

- 「諫早市こども準夜診療センター」の運営支援により、毎日、準夜間(午後8時～11時)に受診可能で、入院が必要な場合等には二次救急医療施設で迅速に対応できる小児初期救急医療体制を維持する。併せて、休日・祝日の診療体制の確保のため、在宅当番医制や重症患者にも対応する「輪番制病院」の運営支援を継続する。さらに、三次救急医療施設との連携を図ることで県央地区の医療体制を充実させ、子育て世代の安心につなげる。
- また、市の任意予防接種として乳幼児から中学生まで実施しているインフルエンザ予防接種事業を継続することで、感染の予防と保護者の経済的負担の軽減を図る。

イ:こどもの城を中心とし、すくすく広場と連携しながら子育てに関する心理面での支援等

- 子どもたちが生きる力を培うことを目的とする「こどもの城」において、子育てに関する悩みを聴くこと、保護者同士をつなぐためのきっかけづくりなど親への心理的な支援や、身近な自然や人とのかかわりを通したプログラムをさらに充実させ、子育ての楽しさを感じられるような取組を進める。加えて、積極的な情報発信にも取組み、来館者数の増を目指すことで、体験格差の減少に努める。
- また、市内の学校、幼稚園、保育園や各種団体等への出前講座による人材派遣や連携を行い、オール諫早で子育てしていく気運を高めていく。

ウ:地域や関係機関・団体との連携による体験学習の推進

- 子どもたちが個性や能力を発揮し、自らの夢の実現に向けて意欲的に生きていく力とともに、郷土に誇りをもって生涯にわたりふるさとを支える郷土愛を育むため、地域や関係機関・団体と連携した様々な体験学習を推進する。学童クラブや地域子ども教室・地域未来塾においても、高齢者とのふれあい等により、郷土を学ぶような取組を促す。また、市美術・歴史館や地域の歴史資源を活用した学習についても取り組んでいく。

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
「こども準夜診療センター」において準夜間に毎日受診できる小児初期救急医療サービスの継続	こども準夜診療センターの継続	継続して実施
乳幼児・小学生・中学生の自己負担が軽減されるインフルエンザ予防接種の継続(接種率)	35%	32% (R5年度)

<具体的な事業>

- ・小児救急医療支援事業
- ・輪番制病院・協力病院運営事業
- ・在宅当番医制運営事業
- ・インフルエンザ予防接種事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
「こどもの城」の年間来館者数	70,000人	59,824人

<具体的な事業>

- ・子どものための体験活動事業
- ・大人の学び啓発事業
- ・大人のための子育て応援事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
子ども体験活動支援事業の実施件数	25件	20件

<具体的な事業>

- ・郷土愛育成事業
- ・ふるさと愛育成事業
- ・放課後児童健全育成事業
- ・地域子ども教室推進事業
- ・地域学級協働活動推進事業
- ・子ども体験活動支援事業(新規)

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力を生み出すまち基本目標3
人を育む学びのまち基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

子育て家庭の親に対する支援

ア:こどもの城を中心とし、すくすく広場と連携しながら子育てに関する心理面での支援等(再掲)(8頁)

イ:子育て家庭の経済的負担の軽減

- 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期の学校教育及び保育の重要性に鑑み、国の「幼児教育・保育の無償化」を実践し、市においては、令和5年4月から同時在園児の第2子保育料無償化を実施した。今後も子育てを行う家庭の負担軽減に努める。
- 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子ども医療費助成制度については、小学校就学前から高校生世代及び満20歳未満の高校生までを対象とし、今後も継続していく。ひとり親家庭等については、18歳未満の子または満20歳未満の高校生若しくはその監護者の医療費を引き続き助成していく。
- 高校生世代までの現物給付を実現し、更なる子育て家庭の負担軽減を図る。
- さらに、市立小中学校に在籍する児童・生徒にかかる学校給食費の無償化についても、引き続き実施していく。

地域社会で取り組む子育て活動の充実

ア:学童クラブ・地域子ども教室の充実

- 放課後等において、保護者の代わりに小学校児童に「生活」の場を提供することにより、児童の健全育成と保護者の子育て・仕事の両立を支援する「学童クラブ」については、施設整備等によって安全・安心な運営を図ってきたところである。今後も、小学校区ごとの保育ニーズに合わせた保育定員の確保と施設等の保育環境の向上に努めていくとともに、小規模学童クラブへの支援や母子家庭等への保育料軽減など助成の拡充を図っていく。
- 希望するすべての子どもを対象として、安全・安心な居場所を設け、幅広い地域の参画により学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施する「地域子ども教室」「地域未来塾」については、「学童クラブ」との連携等による子育て支援の充実、並びに地域学校協働活動推進員を活用した各学校と地域団体との連携の充実を図る。

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
幼児教育・保育の無償化の実践	幼児教育・保育の 無償化の実践	3歳以上の幼児教育 保育の無償化 (R1.10～) 同時在園 第二子無償化 (R5.4～)
子ども医療費における全対象年齢での現物給付化の 実施(現物給付の割合)	95%	90.2%

<具体的な事業>

- ・子ども医療費助成事業
- ・ひとり親家庭等福祉医療費支給事業
- ・保育料の軽減
- ・学校給食費の無償化

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
学童クラブ数	60クラブ (R11年度)	53クラブ
地域子ども教室及び地域未来塾数	20教室	13教室

※学童クラブ数は、「第3期諫早市子ども・子育て支援事業計画」において、令和11年度までの目標値であるため、令和12年度の目標値については、次期同計画に依拠する。

<具体的な事業>

- ・放課後児童健全育成事業
- ・放課後児童クラブ施設整備事業
- ・地域学校協働活動推進事業

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8暮らしと経済を支える交通基盤の整備

支援が必要な子どもと家庭のための支援

ア:障害のある子ども等への支援

- 心身の障害により日常生活や社会活動で多くの制約を受けている子どもについては、ノーマライゼーションの理念の下、家庭や地域で安心して暮らせる地域社会づくりを行うことでその制約を少しずつでも取り除いていくことが大切。
- 市民一人ひとりが障害に対する理解を深め、地域の障害のある子どもや障害のある子どもがいる家庭を温かく見守っていくことが必要。
- 障害により様々な機会が妨げられないよう、療育・教育指導体制の強化に努める。

イ:子どもの権利を擁護するための支援

- 家庭での子育て、それを支える地域社会、さらには保育所での保育や幼稚園・学校における教育、これらを連携させながら、子どもの人権を守り、子どもが夢や希望を持って過ごせる環境をつくっていかねばなりません。子どもに対しても、自分の権利を守るために毅然とした姿勢を取るべきことを教え、自分で自分の身が守れるようにしていくことも必要。
- 虐待は、身体的自由だけでなく子どもの生命すら脅かす重大な人権侵害。一方、虐待は外からは見えにくい家庭の中で行われていることが多いため、本市が把握できているのはそのごく一部である可能性がある。虐待を未然に防止し、虐待があったとしてもできるだけ早く発見し、迅速に対応するために、家庭内や地域で子育てする人が孤立しないよう、相談体制を一層充実させる。

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
障害児保育事業	継続して実施	実施施設数 61か所

<具体的な事業>

- ・認定こども園特別支援教育・保育事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
児童虐待防止に向けた体制の充実	継続して実施	会議実施回数 58回

<具体的な事業>

- ・要保護児童等支援事業

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

外国人材の受入促進

ア:外国人との共生社会の実現

- ・ 少子高齢化や労働力不足が深刻化する中、外国人材の活用は、地域の活性化と持続可能な発展に直結する。
- ・ 外国人材受入れについては、地域社会が受入れやすい環境を整えることや支援体制の充実により、外国人が安心して生活・就労できる環境を整えることが不可欠であるため、日本語教室(日本語、日本文化)の開催や国際交流団体への支援・連携などにより、共生社会の実現を図る。

広域・官民連携の推進

ア:定住自立圏等の形成促進

- ・ 近隣市町と連携することで、既存資源を圏域全体として有効に活用して効率的な行政運営につなげるとともに、圏域全体の活性化及び定住促進を図る。

イ:大学や高校との地域連携促進

- ・ 包括的なまちづくり協定を締結している鎮西学院大学、長崎総合科学大学の知見等を活用して、地域づくり活動の促進、地域で活躍する人材の育成、新事業の創出等を推進することにより、大学と地域双方の活性化を目指す。
- ・ 地域の大学や高校との連携強化、情報共有を図るとともに、地域の課題や産業界のニーズに応じた人材の育成を促し、地元事業者への人材供給や若者の地元定着を目指す。

ウ:民間企業との包括的な連携協定の推進

- ・ 民間企業の持つ専門的な知見等を活用することで、地域の活性化と地域社会の発展を図る。また、企業のネットワークを活かした全国への情報発信を行い、関係人口の拡大を図るとともに、移住・定住を促進する。

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
日本語教室の延べ参加者数(日本人と外国人の合計)	350人	290人

<具体的な事業>

- ・市民の国際化推進事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
近隣市町と連携し、令和12年度までに定住自立圏等を形成	1	—

<具体的な事業>

- ・広域連携推進事業(定住自立圏等)



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
協定締結大学との連携事業数	30件	25件

<具体的な事業>



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
連携協定締結企業と連携した事業数	40件 (5年間)	34件 (直近5年間)

<具体的な事業>

- ・連携協定推進事業

施策の展開
新規ビジネス支援

ア: 創業者に対する経営アドバイス等の支援

- 本市に「創業支援ワンストップ相談窓口」を設け、「諫早市創業支援ネットワーク協議会」の構成機関である商工団体や金融機関等を通じてきめ細かなサポートを行う。

イ: 創業者の資金調達の円滑化

- 新たな事業の創出を促進するため、市と金融機関が連携し、資金預託による制度融資を通じて、創業者の資金調達を支援する。
- また、当該資金の利子に対する助成や保証料の補給を行うことで、創業者の負担を軽減し、より一層の効果発現を図る。

地域産業を支える人材の確保・育成

ア: 若者に対する職業能力開発支援

- 有能な職業人の養成を目的とした長崎県央職業訓練校を設置運営する職業訓練法人長崎県央職業訓練協会の活動を支援するとともに、全国のコンピュータ・カレッジの第1号として設置された「いさはやコンピュータ・カレッジ」を運営する職業訓練法人西九州情報処理開発財団についても支援し、地域における技能者等を養成する。

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目のない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
相談件数	650件 (5年間)	640件 (5年間)
創業件数	300件 (5年間)	286件 (5年間)

<具体的な事業>

- ・創業支援ワンストップ相談窓口事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
新規融資件数(設備資金)	70件 (5年間)	21件

<具体的な事業>

- ・中小企業創業支援資金融資事業
- ・中小企業創業支援資金利子補給事業
- ・中小企業創業支援資金保証料補給事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
長崎県央職業訓練校における職業能力開発 (普通課程2年就学)	5人	4人
いさはやコンピュータ・カレッジにおける職業能力開発	70人	59人

<具体的な事業>

- ・長崎県央職業訓練協会支援事業
- ・いさはやコンピュータ・カレッジ運営支援事業

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

若者の地元就職の促進

ア: 合同企業説明会等による新規学卒者等の就職支援

- ハローワーク等が行う企業とUIJターン・新規学卒者との合同企業説明会や企業と高校との情報交換会などを共催し、若者の市内就職を支援する。また、高校への求人情報の提供や合同面接選考会、インターンシップ事業、従業員教育、障害者の雇用促進等を行う諫早雇用・労務協議会の活動を支援する。
- さらに、地元企業と地元や近隣市の大学・高校などが連携して、インターンシップなどマッチングの機会を提供することにより、市内での就職や定住化を促進し、地域の活性化を図る。このほか、県の就職応援サイト「Nなび」などを活用した市内企業の情報発信により、市外学生の保護者等も対象に含めた就職情報の提供に努める。

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
ハローワーク諫早管内の新規高卒就職者地元就職率	70%以上	65%

<具体的な事業>

- ・諫早雇用・労務協議会活動支援事業
- ・地元学生定着促進事業
- ・(仮称)諫早平山産業団地整備事業
- ・工場等設置奨励事業

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

シティプロモーションの推進

ア:「諫早市シティプロモーション戦略」の推進

- 本市の魅力を市の内外に効果的に発信するため、「諫早市シティプロモーション戦略」に基づき、地域の方々、団体などと連携して市の魅力を発掘していく。
- 市の広報誌やパンフレット、ホームページなどの情報発信手段・方法を磨き上げるとともに、市民や諫早市大使など、情報発信力を持った人たちと連携して本市のプロモーションに取り組む。
- また、ふるさと納税制度を活用し、本市の地域資源のPRや関係人口の拡大を図るとともに、市民団体等のアイデアにより本市の魅力をアピールするような取組を継続して支援し、本市の新しい魅力や活力づくりにつなげていく。

選ばれるまちづくり

ア:結婚につながる男女の出会いの場の創出

- 出会いの場を創出する団体の活動を支援するとともに、本市の魅力発信に繋がる婚活イベントや長崎県婚活サポートセンターが運営する「お見合いシステム」により、さまざまな出会いの場の創出を図る。

イ:移住相談体制の強化

- 相談窓口である「いさはや暮らし案内所」の機能強化を進めるとともに、県や県内市町と共同で運営する「ながさき移住サポートセンター」と連携し、本市の移住情報ポータルサイトも活用して、移住希望者の多様なニーズに沿ったきめ細やかな情報提供と相談体制の充実を図り、本市への移住を推進する。

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
本市ホームページへのアクセス数	290万件	226.7万件
ふるさと納税寄付件数	57,000件	34,814件
企業版ふるさと納税寄付件数	14件 (R9年度)	9件

※企業版ふるさと納税については、現在のところ令和9年度まで

<具体的な事業>

- ・諫早市シティプロモーション戦略推進事業
- ・まちづくりサポート事業
- ・ふるさと納税推進事業
- ・企業版ふるさと納税推進事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
婚活支援イベント回数	5回	3.2回 (直近5年間平均)
お見合いシステムの新規登録件数	80件	65件

<具体的な事業>

- ・結婚活動支援事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
相談件数	250件以上	246件
移住コーディネーター数	2人	1人

<具体的な事業>

- ・移住定住促進事業

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8暮らしと経済を支える交通基盤の整備

ウ:移住者等への生活支援

- 本市で新生活をスタートさせる移住者等に対し、国や県と連携した制度の活用による支援を行うとともに、人口減少が特に課題となっている地域で新たに生活を始める世帯への支援策を実施する。
- また、移住希望者が活用可能な「諫早市空き家バンク」について広く周知広報を行い、本市への移住の促進を図る。

エ:地域外の視点を持った人材との交流・活用

- 地域で新しいアイデアや活動を生み出す原動力として、移住者が継続的に地域活動に参加し、多様な視点を活かした情報発信や地域活性化に取り組むことで、本市の魅力を広く市外へ伝えとともに、市民自身が地域の魅力を再発見する機会を創出するため、地域おこし協力隊の更なる活用を図る。
- また、住所地以外の地域に継続的に関わる者の規模や地域との関係性などの把握に努め、地域の担い手確保や地域経済の活性化を目指す。

1-5 多様な地域づくりの推進

施策の展開

特色あるまちづくりの推進

ア:地域に対する誇りや愛着を高めるための地域づくり活動の促進

- 市民が本市に住み続けたいと思う地域づくりのため、地域の活性化や課題解決に寄与する市民の自主的な活動を支援するとともに、長期的な視点から地域の課題を市民自らが解決しながら、まちづくりに取り組む「地域運営組織」の体制づくりを支援する。

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
支援制度を活用した市外からの移住件数	70件 (5年間)	14.2件 (直近5年間平均)

<具体的な事業>

- ・移住支援事業
- ・いさはや生活実現事業
- ・小長井地域新生活応援事業
- ・空き家バンク利用促進事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
地域おこし協力隊 隊員数	10人	7人
県外在住で本市に関わりを持つ人の人数 (諫早市公式LINE登録者数(県外))	6,400人	4,505人

<具体的な事業>

- ・地域おこし支援事業
- ・関係人口創出・拡大事業

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
地域づくり活動を行う団体の数	70団体	67団体

<具体的な事業>

- ・地域づくり協働事業

施策の展開

未来へ向けたまちづくりの推進

ア:抜本的な土地利用制度の見直しによる定住人口の拡大

- 本市では、昭和46年から区域区分制度を導入し計画的な市街地形成を推進してきたが、人口減少や少子高齢化が加速する中、郊外部の地域コミュニティや集落機能の維持を図るため、平成23年度から市街化調整区域に40戸連たん制度を導入し、住宅の開発行為の大幅な規制緩和を行ってきた。
- 平成27年度からは「諫早版小さな拠点」を設け、便利施設の配置や交通ネットワークの形成など生活サービスの維持・確保に取り組むとともに、地区計画制度の活用を推進するための運用基準を設けた。
- 令和2年度には小さな拠点の追加及び拡充、令和4年度には沿道地区における建築用途の更なる緩和などを行い、地域の特性に応じた土地利用を誘導することで、将来にわたっての集落生活圏の維持に努めている。
- 更に令和6年度には大手企業の進出などを好機とし、関連企業の立地を支援し就業者等の本市への定住化を促進させるため、40戸連たん区域の全域で共同住宅の立地を認めるなど大胆な規制緩和を行った。
- また、都市計画区域外の支所・出張所地域においては令和4年度から、分譲宅地などの宅地開発に対し、補助金を交付する制度(生活拠点等活性化事業)を設け、定住化や地域コミュニティの維持を図っている。
- 更なる定住人口の拡大を目指すために、令和6年5月に都市計画区域の再編、区域区分の廃止及び補完制度の導入という3つの柱からなる「諫早市の新しい都市計画」に関する基本方針を定め、本格的に線引き制度によらない、本市の将来にふさわしい新たな土地利用制度への見直しを進める。



1-1	妊娠〜出産〜子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
市街化調整区域の土地利用規制緩和による戸建住宅の許可戸数	100戸	68戸
「生活拠点等活性化事業」を活用した宅地開発戸数及び生活利便施設立地件数	20戸、1事業所	15戸、0事業所 (R4～R6の平均)
抜本的な土地利用制度の見直し	土地利用制度 見直しの実現 (R9年度)	—

<具体的な事業>

- ・生活拠点等活性化事業
- ・土地利用政策策定事業(新規)

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

イ:コンパクト・プラス・ネットワークの形成

- 本市の市街地においては、人口減少等による空洞化が懸念されており、持続可能な都市づくりを構築するためには都市機能のコンパクト化を進めるとともに、公共交通や道路の機能向上などによる既存集落の各拠点等とのネットワーク形成を推進する立地適正化計画の策定を目指す。
- 公共交通機関については「諫早市地域公共交通計画」に基づき、既存の交通資源の有効活用を図りつつ、地域が主体となった取組の促進などを含めた多様な移動サービスを組み合わせることにより、効率的で持続性の高い公共交通を目指します。
- さらに、道路については地域間の連携を確保し、暮らしやすくしていくための道路ネットワークについても、着実な整備促進を図る。

地域の特性に応じた適正な土地利用誘導と定住促進

ア:抜本的な土地利用制度の見直しによる定住人口の拡大(再掲)24頁

まちなか再生の推進

ア:中心市街地の活性化(賑わうまちづくり)

- 中心市街地の活性化のため、多彩なイベントの開催や、商店街を中心として行われる様々な市民活動を支援し、賑わうまちづくりを推進する。
- また、市役所周辺部の商業施設や諫早駅周辺を拠点とし、新たな賑わい創出のための仕組みづくりを行う。

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
立地適正化計画策定、運用	立地適正化計画 策定、運用	-

<具体的な事業>

- ・コンパクトシティ形成事業
- ・地域公共交通推進事務
- ・鉄道軌道輸送対策支援事業
- ・地域輸送支援事業
- ・地方バス路線維持対策事業
- ・乗合タクシー運行事業

基本目標1 チャレンジできるまち

基本目標2 産業が活力を生み出すまち

基本目標3 人を育む学びのまち

基本目標4 誇りと賑わいのあるまち

基本目標5 持続可能なまち



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
・アエル中央商店街の歩行者通行量(平日)	7,000人/日	5,263人/日
・中心市街地の居住人口	4,000人	3,837人

<具体的な事業>

- ・商店街まちづくり協定支援事業
- ・中心市街地夏祭り支援事業
- ・賑わい創出イベント支援事業
- ・市民まちづくり活動支援事業
- ・諫早駅周辺整備事業

施策の展開

次世代につなげる農業づくり

ア：農業の担い手の確保・育成

- 「農業経営改善計画」の認定を受けた認定農業者について、計画の実行を支援し、地域の担い手農業者の確保・育成を図るとともに、「青年等就農計画」の認定を受けた認定新規就農者については、技術習得研修を始めとする農地や農業用施設の確保など、認定農業者へステップアップできるよう切れ目ない支援を行うとともに、AIやICTを活用したスマート農業への取組についても支援を行い、農業の省力化や生産性の向上を図り、担い手の確保・育成を図る。

イ：農業生産基盤整備の推進

- 農業生産基盤の整備促進を図るとともに、園芸ハウスや集出荷施設等の整備に対して、新設のみならず遊休施設の活用を含めて支援を行い、担い手への農地の集積と規模拡大、農産物の高付加価値化を確立させ、農業所得の向上を図る。

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
認定新規就農者数	25経営体	23経営体

<具体的な事業>

- ・認定農業者等支援事業
- ・新規就農者育成総合対策事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
・担い手への農地の集積率	80%	60.9%

<具体的な事業>

- ・畑地帯総合整備事業
- ・圃場整備事業
- ・土地利用型機械導入支援事業
- ・園芸用機械導入等支援事業
- ・園芸ハウス整備推進事業
- ・集出荷施設整備事業
- ・農地中間管理制度推進事業

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

活気のある海辺づくり

ア:漁業の担い手の確保・育成

- 漁業については、今後の持続的な漁業生産と漁村活力の維持を図るため、「諫早市漁業担い手確保計画」に基づき地域漁業の実情に応じた各種方策を実施し、県や漁協と連携し、スマート水産業の推進を図り、新規漁業就業者を確保・育成する。



2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

施策の展開

商店街など中心市街地の賑わい創出

ア:中心市街地の活性化(賑わうまちづくり)(再掲)26頁

中小企業等への支援

ア:中小企業の経営健全化

- 商工業の活性化を図るため、商工団体や金融機関等と連携し、本市経済の基盤を支えている中小企業者の経営の安定や健全な発展に対する支援を行う。



【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
漁業就業実践研修修了者数	8人 (5年間)	7人 (直近5年間)

<具体的な事業>

- ・漁業担い手確保育成事業

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力を生み出すまち基本目標3
人を育む学びのまち

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
・中小企業者への新規融資件数(創業者を除く) (設備資金)	200件 (5年間)	22件

<具体的な事業>

- ・小規模事業者支援事業
- ・中小企業振興資金融資事業
- ・中小企業振興資金保証料補給事業

基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

企業誘致および既存企業の投資拡大

ア:県内トップクラスの立地環境である企業集積地区における支援

- 本市の諫早中核工業団地、諫早貝津工場団地、山の手工業団地、諫早流通産業団地、西諫早産業団地及び南諫早産業団地については、全て分譲済であるとともに、企業誘致促進地区として指定を行い、企業集積を図っており、全国でも有数の規模となっている。同地区に係る企業の立地や既存企業の設備投資等について、奨励制度による支援を今後も継続するとともに、その他必要に応じた支援を行い雇用の維持・拡大及び産業の活性化に努める。
- また、新たな産業団地として(仮称)諫早平山産業団地を整備して更なる企業誘致を図り、雇用の維持拡大に努める。

イ:成長発展が期待される分野の企業や本社機能の立地の促進


- 若者にとって魅力のある雇用の場を創出するため、企業訪問等の積極的な企業誘致活動を推進し、自動車産業や航空・宇宙関連産業等の将来において成長発展が期待される分野の企業や本社機能を持つ企業の立地の促進を図る。

新たな産業団地の整備促進

ア:産業(工業)団地の整備と企業誘致による雇用創出

- 若者の定住化やUIターン促進及び地域活性化のため、企業進出の受け皿として(仮称)諫早平山産業団地を整備し、雇用の創出を図る。


【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
誘致企業数	3社 (5年間)	1社 (直近5年間)

<具体的な事業>


- ・工場等設置奨励事業
- ・(仮称)諫早平山産業団地整備事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
成長発展分野の企業及び本社機能を持つ企業の誘致	2社 (5年間)	1社 (直近5年間)

<具体的な事業>

- ・企業誘致事業
- ・(仮称)諫早平山産業団地整備事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
市内企業誘致地区における雇用創出数	2,100人 (5年間)	10人 (5年間)

<具体的な事業>

- ・(仮称)諫早平山産業団地整備事業
- ・企業誘致事業
- ・工場等設置奨励事業

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力を生み出すまち基本目標3
人を育む学びのまち基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

個性と創造力を伸ばす教育

ア:地域に対する誇りや愛着を高めるための地域づくり活動の促進

- 学校を核として、子どもたちが郷土芸能、農業、漁業などに触れる郷土色豊かな体験学習を実施し、子どもたちの郷土愛を育むとともに、郷土資料のデジタルアーカイブ化等の取組により、郷土愛の醸成、地域の活性化を図る。
- さらに、地域づくり活動を進めていくため、各支所・出張所、図書館、生涯学習施設などを地域の情報提供や交流の拠点として位置づけ、市民同士または市民と市がネットワークを強化しながら地域づくりを進めていく。

教育環境の充実

ア:教育環境の充実

- 子どもたちが安全・安心な環境で学校教育を受けることができるよう、小中学校の校舎・屋内運動場の老朽改修や防災機能強化を計画的に推進するとともに、小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を見通した教育課程を編成して、系統的教育を実施する義務教育学校等を導入し、次世代を担う子どもたちの教育環境の充実を図る。
- また、1人1台端末を活用した効果的な学習や別室で学ぶ児童生徒や外国人児童生徒の学習や学校生活の支援を行い、未来を担う子どもたちの「確かな学力」を育むとともに、特別な教育的支援を必要とする子どもたちへの適切な支援を実施するための特別支援教育補助員の配置、小・中学校における心のケア体制の充実を図るための相談員の配置等を行うことで、学びと夢を育てる学校教育の充実を図る。

心がふれあう安全な学校環境づくり

ア:教育環境の充実(再掲)34頁

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
コミュニティ・スクール導入校数	40校	8校

<具体的な事業>

- ・郷土愛育成事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
諫早市地域クラブ数	120クラブ	0クラブ

<具体的な事業>

- ・学校施設環境改善事業
- ・学校施設防災機能強化事業
- ・義務教育学校整備事業
- ・学力向上支援事業
- ・特別支援教育支援事業
- ・心の相談事業
- ・部活動の地域展開

基本
目標
1
チャレンジできるまち

基本
目標
2
産業が活力を生み出すまち

基本
目標
3
人を育む学びのまち

基本
目標
4
誇りと賑わいのあるまち

基本
目標
5
持続可能なまち

3-2 地域で支える青少年の健全育成

施策の展開

豊かな人間教育

ア: 業界と連携したキャリア教育の実施

- 本市の中学生や高校生、大学生などが、市内企業での職場体験等を通じて働く力を養うとともに、市内での就職希望割合を高めていくことが地域の人材確保と活性化のためには重要である。このため、地域や市内企業、関係機関・団体と連携し、インターンシップや職場体験活動を実施するとともに、地域課題探求活動を支援し、地元学生等のキャリア形成を図る。
- また、半導体、電子機器、航空宇宙関連等の先端のデジタル技術を有する企業が立地しているという利点を生かし、職場体験等を通じ、将来のデジタル人材の育成を推進する。

3-3 世代を越えて学ぶ生涯学習の推進

施策の展開

生涯学習の充実

ア: デジタルデバйдへの取組

- 総務省が実施する「通信利用動向調査」では、60代以上のインターネット利用率において、年齢階層が上がるにつれて低下する傾向にあり、社会全体のデジタル化が進められる中、デジタルに不慣れな方、特に高齢者に対するデジタル活用支援が必要である。
- 民間企業と連携し、高齢者等のデジタル活用に不安を抱える方が身近な場所でデジタル機器・サービスの利用方法を学べる講習会の開催などによりデジタルデバйдの解消を図る。

「図書館のまち諫早」の推進

ア: 図書館を拠点としたビジネス情報の提供等

- 誰もが気軽に来館できる図書館という場を活用し、起業予定者等に対して起業・経営・マーケティング・業界紙等のビジネス関係資料の積極的な提供を行う。また、起業、販路拡大、経営改善等経営上の課題解決につなげるため、中小企業庁の「長崎県よろず支援拠点」と連携した支援を行う。

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
地域人材を活用した職業教育の実施校数	40校	14校
高校生・大学生等の職場体験企業の数	10社	4.4社 (直近5年間平均)

<具体的な事業>

- ・キャリアアップ事業
- ・地元学生定着促進事業
- ・中学校職場体験等活動事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
スマートフォン講習会等の延べ受講者数(累計)	1,400人	771人

<具体的な事業>

- ・デジタル活用支援推進事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
よろず支援拠点と連携したビジネスに関する相談受付件数	150件	115件 (直近5年間平均)

<具体的な事業>

- ・ビジネス情報支援事業

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力をまみ出すまち基本目標3
人を育む学びのまち基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開
男女共同参画意識の浸透

ア:市民・事業所に対する男女共同参画意識の啓発

- 仕事と子育てや介護等を両立できるような働き方の見直しは、子育てや親の介護が必要な時期など個人の置かれた状況に応じて多様で柔軟な働き方が選択できる社会の実現につながる。また、男女共同参画意識の向上により男女が共に幸福感や満足感を持つことができる生活の実現や、ひいては社会全体の経済や地域社会の活性化にもつながる。
- このため、経営者や管理者はもちろん、市民一人一人が仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を理解し、その推進を図るため、市民や事業主の意識啓発の機会を設けるとともに、国等の関係機関と連携し周知を図る。
- また、地域からの流出が続く若者や女性など、誰もが活躍できる地域づくりのため、地域社会や職場に残る固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消に向けて啓発活動を行う。

女性の能力発揮・人材育成と登用促進

ア:起業及び再就職を希望する女性に対するきめ細かな支援等

- 起業を希望する女性及び育児や介護等による離職後に再就職を希望する女性を対象として、時流に合わせた知識、技能、情報等を提供し、ライフスタイルの変化に応じ、女性の起業や再就職を促進する。

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
セミナー等参加者	200人	—
セミナー等参加者の理解度	85%以上	78%

<具体的な事業>

- ・男女共同参画啓発事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
起業塾受講者の起業件数	20件 (5年間)	18件 (直近5年間)
再就職セミナー受講者の再就職者数	20人 (5年間)	9人 (直近5年間)

<具体的な事業>

- ・女性のための起業塾開催事業
- ・女性のための再就職セミナー開催事業

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力を生み出すまち基本目標3
人を育む学びのまち基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

施策の展開

芸術文化にふれる機会の創出

ア:芸術文化にふれる環境づくり

- ・ 諫早市美術・歴史館、諫早文化会館等を活用した芸術・文化イベントの充実に取り組むとともに、新たな芸術文化の交流拠点施設として(仮称)市民交流センターの整備を図る。



4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

施策の展開

スポーツによる交流人口の拡大

ア:スポーツツーリズムによる交流人口の増加促進

- ・ 本市の充実したスポーツ施設の活用によるスポーツコンベンション、V・ファーレン長崎などプロスポーツ等を通じた交流人口の拡大に加え、諫早湾干陸地や本明川沿いの美しい景観をコースとした長崎ミュージックフェスマラソン大会の開催を通じ、国内外から多くのランナー及び関係者の参加を募り、更なる交流人口の拡大など、本市が有するスポーツ資源を最大限に活用して「スポーツツーリズム」を推進し、他地域の住民へ本市の魅力をPRし、移住可能性の拡大につなげる。
- ・ また、野球場、サッカー場、テニスコート、本明川水上競技場など新たなスポーツ拠点を活かした交流人口の拡大についても、いさはやスポーツコミッションを中心に各種大会の誘致や自主イベントの開催など他地域との連携を強化しながら図っていく。



1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
美術・歴史館来館者数	30,000人	22,945人
芸術文化交流拠点数	1か所	—

<具体的な事業>

- ・美術・歴史館運営事業
- ・(仮称)市民交流センター整備事業

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
スポーツ交流人口	35万人	25万人
諫早市コンベンション等開催助成金 延べ宿泊者数	13,000人	10,685人

<具体的な事業>

- ・市内スポーツ施設を活用したスポーツ交流人口拡大事業
- ・本明川水上競技場合宿誘致促進事業
- ・本明川水上競技場利活用事業
- ・スポーツコミッション支援事業(新規)
- ・フルマラソン実施事業(新規)
- ・宿泊観光促進事業

基本
目標
1
チャレンジできるまち

基本
目標
2
産業が活力を生み出すまち

基本
目標
3
人を育む学びのまち

基本
目標
4
誇りと賑わいのあるまち

基本
目標
5
持続可能なまち

施策の展開
観光地域づくりの推進

ア：多様な観光資源を活かした交流人口の増加促進

- 多良岳での山歩き等の豊かな自然を活かした軽スポーツ、本明川下流域及び干陸地など国営諫早湾干拓事業により創出された地域資源や長崎街道などの歴史資源を活用した取組、橘湾・大村湾・有明海という特色ある3つの海を活用したイベントなどによる交流人口の拡大について、他地域との連携も図りながら促進する。
- また、地域資源を活用した日帰り型の農林漁業体験ツアーを企画・実施するグループの支援についても取り組んでいく。
- さらに、市内観光団体や事業者等と連携し、本市の豊かな自然や食、産業、歴史を生かした体験観光商品を造成し、旅行会社や個人旅行客向けに情報発信し、交流人口の拡大を図る。

イ：観光関連産業の活性化

- 市内外から多数を集客する諫早3大まつりを開催・支援するとともに、市民主体のイベントを支援する。また、市内観光事業者や関係団体等と連携し、諫早市の強みである食や自然・歴史等を生かした観光商品を造成し観光客や旅行会社、インバウンド向けに積極的に発信することで、観光関連産業の活性化を図る。
- さらに、諫早駅の観光案内PRコーナー等を活用し、島原半島3市とともに観光情報発信を行うなど、広域的な観光連携の強化や観光パンフレットやポスター、市ホームページ、SNS等の一層の活用を図る。



1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
観光入込客数	270万人	210万人
体験観光に係る観光商品やツアーの造成数	13件 (5年間)	3件 (R5年度)

※観光入込客数: 特定の観光地等を訪れた人の総数で、市内の宿泊者数や観光施設の来場者数などを合わせて算出したもの。

<具体的な事業>

- ・体験型観光・インバウンド推進事業(新規)
- ・歴史の道観光・文化交流推進事業
- ・新鮮水産まつり支援事業
- ・グリーンツーリズム促進事業
- ・諫早湾干拓水辺空間づくり推進事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
観光消費額(宿泊客、日帰り客の合計額)	22,410,506千円	17,928,405千円
延べ宿泊者数	56万人	42万人

<具体的な事業>

- ・観光情報発信事業
- ・宿泊観光促進事業
- ・諫早つつじ祭り開催事業
- ・諫早万灯川まつり支援事業
- ・のんのこ諫早まつり支援事業
- ・体験型観光・インバウンド推進事業(再掲)
- ・賑わい創出イベント支援事業

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

観光地域づくりの推進

ウ:他の地方公共団体と連携した施策の推進

- 新幹線を活かしたまちづくりや県南地域(島原市、諫早市、雲仙市及び南島原市)の公共交通の活性化と再生を推進する。併せて、世界遺産を有する長崎市や県南地域と連携した周遊観光の構築に向けた取組についても検討する。
- また、大村線沿線地域とJR九州が連携した、沿線地域活性化の取組や県境を越え多良山系関係市町の連携による自然・歴史・文化資源を活用した観光の取組、有明海沿岸地域市町の連携による交流人口等の増加や産業活性化を通した沿岸地域の持続的な発展の取組等についても推進していく。

市民参加型イベントの推進

ア:観光関連産業の活性化(再掲)42頁

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
観光入込客数	270万人	210万人
延べ宿泊者数	56万人	42万人

＜具体的な事業＞

- ・西九州新幹線沿線5市ネットワーク会議による連携事業
- ・九州新幹線西九州ルート県南地域活性化協議会による連携事業
- ・大村線沿線観光活性化協議会による連携事業
- ・シュガーロード連絡協議会による連携事業
- ・太良町との連携による歴史の道観光・文化交流推進事業
- ・有明海沿岸地域振興事業

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力を生み出すまち基本目標3
人を育む学びのまち基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

施策の展開

地場産品の開発・研究

ア：地場産品の開発研究（商品開発・ブランド化・6次産業化）

- ・ 消費者ニーズに対応した農水産物の新たなブランド化に向けて生産から消費に至るまでの取組等を支援する。
- ・ さらに、市内の農業者と商工業者等のマッチング支援や各種セミナーの開催、両者が協働した商品開発や販路開拓の取組を支援する。このほか、有害鳥獣捕獲活動で生じる資源の有効活用を図るため、デジタル技術を活用した捕獲活動により、質の良い加工製品の製造・供給を行い、道の駅やインターネット販売など市内外での販路拡大を推進する。

地場産品の普及・販売促進

ア：地場産品の普及促進

- ・ お中元、お歳暮フェアや市内外での物産イベントへの出店支援、諫早駅自由通路や交流広場、道の駅におけるマルシェ等の開催、リニューアルした「いさはや産直図鑑」や農水産業まつりなどのイベントを活用した地場産品のPRにより、農水産物の消費拡大に取り組む。

イ：道の駅を拠点とした地域活性化

- ・ 道の駅251いいもりじゃがーロードの開駅により、国道251号を利用するドライバーへの安全で快適な道路環境を提供するとともに、施設への来訪者の増加により、地域の賑わいや交流人口の拡大、地域経済の活性化に寄与する。

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市（まち）づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成（再掲）16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション（再掲）20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
農水産物ブランド化取組数(累計)	21品目	15品目 (H22～R6年度)
市内三漁協の陸揚金額	464,000千円	450,000千円 (R1～5年の平均)
農業者と商工業者等の連携体による6次産業化の新たな取組件数(累計)	56件	41件 (直近5年間)

<具体的な事業>

- ・地場産品普及促進事業
- ・農水産物ブランド化推進事業
- ・農業・農村活性化支援事業
- ・鳥獣肉処理加工・流通促進事業
- ・農水産業まつり支援事業
- ・小長井地域力キ養殖支援事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
(一社)諫早観光物産コンベンション協会による地場産品の売上額	5,000万円	4,021万円

<具体的な事業>

- ・地場産品普及促進事業(再掲)

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
道の駅の来訪者数	37万人	—

<具体的な事業>

- ・道の駅管理事業

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

脱炭素と循環型社会の実現

ア:2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた地球温暖化対策の推進

- 本市では、「2050年ゼロカーボンシティ」の実現を表明し、温室効果ガスの排出抑制に取り組むとともに、地球温暖化による様々な分野への影響が深刻化していることから、その対策にも取り組んでいる。
- 市民や事業者を含めたオール諫早で地球温暖化対策に取り組むため、市が率先して省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入、省資源化等を推進する。



【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
諫早市域から排出される温室効果ガス排出量(千t-CO2)	688 千t-CO2	1,290 千t-CO2 (H25年度)

<具体的な事業>

- ・ゼロカーボンシティ推進事業

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力を生み出すまち基本目標3
人を育む学びのまち基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

介護サービス基盤の整備

ア:地域包括ケアシステムの一層の深化・推進

- 高齢者が生きがいを持って、その能力に応じて住み慣れた地域で、安心・安全な日常生活を送ることができるよう、第10期介護保険事業計画(R9～R11)を策定し、介護基盤の整備やDX化、介護サービスに関わる人材の確保を進める。

高齢者が活躍できる地域づくり

ア:高齢者の就労支援

- 地域社会との連携・協力により、高齢者に就業機会を提供し、ボランティア活動をはじめとする様々な社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉と活性化に貢献するための活動を行っている諫早市シルバー人材センターを支援し、高齢者の就労機会の確保を図る。

生きがいを持てる地域づくり

ア:高齢者の生きがいづくりと介護予防活動の支援

- 外出機会が減った高齢者等が身近な場所で気軽に交流する集いの場を通じ、同じ地域に住む人との仲間づくりや健康づくり、生きがいづくりができるよう、専門職の派遣や運営支援を行い、地域における介護予防活動の継続を図る。

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
介護認定申請を受け付けてから決定するまでの日数	平均30日	平均39.3日

<具体的な事業>

- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護開設支援事業
- ・地域密着型介護老人福祉施設整備事業
- ・認知症対応型共同生活介護施設整備事業
- ・小規模多機能型居宅介護施設整備事業
- ・看護小規模多機能型居宅介護施設整備事業
- ・介護認定審査会運営事務

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
諫早市シルバー人材センター会員登録数	489人	409人

<具体的な事業>

- ・シルバー人材センター支援事業

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
「ふれあいいきいきサロン」(介護予防活動)延べ参加者数	24,300人	21,579人

<具体的な事業>

- ・地域介護予防活動支援事業

施策の展開
治水対策の促進

ア:デジタル技術を活用した防災体制の機能強化

- 近年、集中豪雨等に伴って全国的に甚大な災害が発生する中、本市における防災情報を迅速に市民へ周知し、適切な避難誘導等を図ることが重要である。
- このため、本明川を始めとする本市河川の水位や河川敷の状況を遠隔操作カメラにより監視するとともに、降雨予想や台風進路等の気象情報を把握し、防災行政無線や防災メール、コミュニティFM、SNSへの同報サービスの構築など、様々な手段を活用して必要な防災情報を周知し、災害発生 of 未然防止と減災対策を推進するとともに市民の防災意識の向上を図る。
- さらに、市民の生命や財産を守るための重要な治水対策として令和14年度完成予定の本明川ダムの整備促進を図るとともに、ダム完成後にはその機能を最大限に活用するため、国と連携した防災システムの構築を検討する。

危機管理体制の強化

ア:地域防災力の強化

- 市民の安全・安心を確保するため、自治会単位での防災マップ作成や避難訓練の実施、コミュニティタイムラインの作成、自主避難所開設支援、防災資機材の整備など、ハードとソフトを融合させた防災減災対策を推進し、地域防災力の強化に取り組む。また、消防団の機能強化を図るため、機能別消防団員制度の導入検討や装備、資機材の整備を継続的に行う。

イ:デジタル技術を活用した防災体制の機能強化(再掲)52頁

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8暮らしと経済を支える交通基盤の整備

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
市公式SNSフォロワー数と防災メール登録者数	75,000件	51,752件

<具体的な事業>

- ・防災機器整備事業

【成果指標と主な事業】

指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
防災マップ作成率	100%	89.4%

<具体的な事業>

- ・地域防災力向上事業
- ・消防活動資機材整備事業
- ・消防機材整備事業

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力を生み出すまち基本目標3
人を育む学びのまち基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

施策の展開

交通事故のないまちづくり

ア:交通安全対策の充実

- 本市は交通の要衝であることから、交通事故の発生件数、死者数、負傷者数が県内でも多い状況にある。このため、市民や事業所等の交通安全意識の高揚に向けた啓発の強化や、交通弱者である子どもや高齢者等への指導・教育を推進し、交通事故の防止を図る。
- さらに、歩行者が安心して通行できる道路整備等を行い、交通事故のない安全・安心なまちづくりを進めていく。



1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
交通事故による重傷者数	26人以下	31人
運転免許証返納者支援事業の活用人数	450人	391人

<具体的な事業>

- ・交通安全推進事業
- ・通学路安全対策事業
- ・運転免許証返納者支援事業

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力を生み出すまち基本目標3
人を育む学びのまち基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

1-1 妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援

1-2 多様な交流と連携によるまちづくり

1-3 新たな活力の創出と人材育成

1-4 市民協働の諫早プロモーション

1-5 多様な地域づくりの推進

1-6 魅力的な都市(まち)づくりの推進

2-1 特色ある農業の振興

2-2 循環型林業の推進

2-3 3つの海が育てる水産業の振興

2-4 個性と魅力あふれる商工業の活性化

2-5 安定した雇用の創出

2-6 新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁

3-1 学びと夢を育てる学校教育の充実

3-2 地域で支える青少年の健全育成

3-3 世代を超えて学ぶ生涯学習の推進

3-4 女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進

3-5 恒久平和の推進と人権意識の醸成

4-1 歴史と文化が息づくまちづくり

4-2 スポーツ・レクリエーションの振興

4-3 おもてなしの心による観光振興

4-4 ふるさとの物産づくり

4-5 水とみどり豊かな環境づくり

4-6 未来につながる環境の保全

4-7 市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁

5-1 安心できる地域福祉の推進

5-2 健康づくりと保健・医療の充実

5-3 明るく活力ある長寿社会の実現

5-4 自立と共生の障害者支援

5-5 総合的な防災体制の強化

5-6 交通安全・防犯意識の推進

5-7 安心・安全な暮らしを支える基盤づくり

5-8 暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

生活排水対策の推進と持続可能な事業運営

ア:水環境と調和した快適な生活環境の確保と産業の活性化

- 生活排水対策(公共下水道事業、集落排水事業、浄化槽設置費補助事業)については、着実に成果をあげており、面的整備の完成に向けて引き続き推進していく。また、健康で快適な生活環境の確保と、本市を囲む3つの海(有明海、大村湾、橘湾)、諫早湾干拓調整池、河川等の公共用水域の水質改善を図るため、地域の特性や実情に応じ、経済性を考慮しつつ、最適な生活排水対策に取り組み、移住・定住の促進と農業、水産業を始めとする産業の活性化につなげていく。

生活基盤の整備

ア:空家等の適切な管理

- 適切に管理されていない空家等は周囲に悪影響を及ぼすことから、所有者等に対して適正管理依頼を行う。
- 所有者等が存在せず適切に管理されていない空家等については、財産管理制度を活用していく。

イ:公共施設等のバリアフリー化の推進

- 今後の高齢化の進展を踏まえ、すべての人が安心して暮らせるバリアフリーのまちづくりがますます重要となっている。このため、公共施設における率先的なバリアフリー化に取り組む。また、啓発活動や研修会開催、自己点検支援等を通じて、市民・事業者・関係団体・行政などの連携による推進体制づくりと人づくり、気軽にかけられるような情報発信などにより、心のバリアフリー化を推進する。

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
汚水処理人口普及率の向上	97.1%	93.6%

<具体的な事業>

- ・公共下水道事業
- ・浄化槽設置費補助事業



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
老朽危険空家等除却助成事業による解体件数	10件	8件

<具体的な事業>

- ・適切に管理されていない空家等の所有者に対して適正管理依頼の実施
- ・財産管理制度を活用した空家等の適正管理



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
市関係公共施設のバリアフリー化に関する苦情件数	0件	0件

<具体的な事業>

- ・公共施設バリアフリー化推進事業

基本目標1
チャレンジできるまち基本目標2
産業が活力を生み出すまち基本目標3
人を育む学びのまち基本目標4
誇りと賑わいのあるまち基本目標5
持続可能なまち

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

施策の展開

道路ネットワークの構築

ア:橋梁の効率的な維持管理による長寿命化の推進

- 市道橋の維持管理について、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づく予防保全型の効率的な管理を実施することにより、施設の長寿命化およびライフサイクルコストを縮減し、地域における安全・安心な暮らしの確保につなげる。



市民生活の移動手段の確保

ア:コンパクト・プラス・ネットワークの形成(再掲)26頁



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
橋梁定期点検実施数(累計)	2,974橋	1,917橋 (H27～R6年度)
橋梁長寿命化対策実施数(累計)	113橋	64橋 (H27～R6年度)

＜具体的な事業＞

- ・橋梁定期点検事業
- ・橋梁長寿命化事業

まちづくり計画の推進方策

健全で効率的な行財政運営の推進

ア: 将来のまちづくりを見据えた公共施設の効率的な管理の推進



- 公共施設については、少子高齢化、人口減少に伴う利用需要の変化や維持更新費の増加を踏まえ、長期的視点に立つて規模の適正化、長寿命化に取り組み、有効活用を図る必要がある。このため、施設に適した保全を行い、安全性や機能性を確保しながら、将来のまちづくりを見据えた公共施設の効率的な維持管理を推進する。
- また、第2次公共施設等総合管理計画を策定し、個別施設計画への対応も実施する。

1-1	妊娠～出産～子育てへの切れ目ない支援
1-2	多様な交流と連携によるまちづくり
1-3	新たな活力の創出と人材育成
1-4	市民協働の諫早プロモーション
1-5	多様な地域づくりの推進
1-6	魅力的な都市(まち)づくりの推進
2-1	特色ある農業の振興
2-2	循環型林業の推進
2-3	3つの海が育てる水産業の振興
2-4	個性と魅力あふれる商工業の活性化
2-5	安定した雇用の創出
2-6	新たな活力の創出と人材育成(再掲)16頁
3-1	学びと夢を育てる学校教育の充実
3-2	地域で支える青少年の健全育成
3-3	世代を超えて学ぶ生涯学習の推進
3-4	女性活躍と男女共同参画社会づくりの推進
3-5	恒久平和の推進と人権意識の醸成
4-1	歴史と文化が息づくまちづくり
4-2	スポーツ・レクリエーションの振興
4-3	おもてなしの心による観光振興
4-4	ふるさとの物産づくり
4-5	水とみどり豊かな環境づくり
4-6	未来につながる環境の保全
4-7	市民協働の諫早プロモーション(再掲)20頁
5-1	安心できる地域福祉の推進
5-2	健康づくりと保健・医療の充実
5-3	明るく活力ある長寿社会の実現
5-4	自立と共生の障害者支援
5-5	総合的な防災体制の強化
5-6	交通安全・防犯意識の推進
5-7	安心・安全な暮らしを支える基盤づくり
5-8	暮らしと経済を支える交通基盤の整備

【成果指標と主な事業】



指標	目標値 (R12年度)	参考値 (R6年度実績)
第2次公共施設等総合管理計画の策定、推進	公共施設の 適切な管理と行政 サービス水準の 維持・向上	—

<具体的な事業>

- ・公共施設等総合管理計画の推進